

# 取扱説明書

自動式浅井戸ポンプ用

降水器

**HITACHI**  
Inspire the Next

## PD-S形

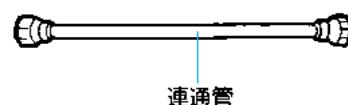
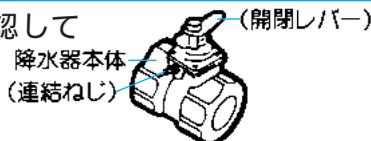
このたびは日立降水器をお買い上げいただきありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に保管ください。
- この装置は、寒冷地に据え付ける場合に、ポンプの凍結を防止するために、吸込管内・圧力タンク内および吐出管内の水を井戸へ戻すものです。

取り付け可能ポンプ：一般形浅井戸用自動ポンプ(WT-形)80W～300Wタイプに対応

### 部品の名称

同梱品を確認してください。



\*据え付けは専門工事が必要ですから販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。

## 安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注記事項は表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

### ⚠ 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

#### 絵表示の例



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



必ず実行していただく「指示」内容のものです。

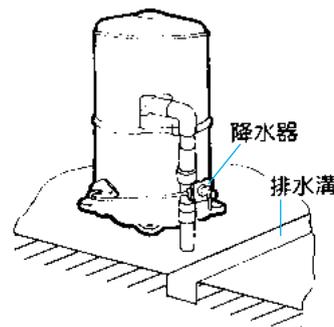
## ⚠ 注意



防水処理

床面が防水処理・排水処理されているか確認する。

- 水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。



ホーム＆ライフ  
ソリューション

# 据付工事について(販売店様・工事店様用)

## 据え付けかた

### ⚠ 注意

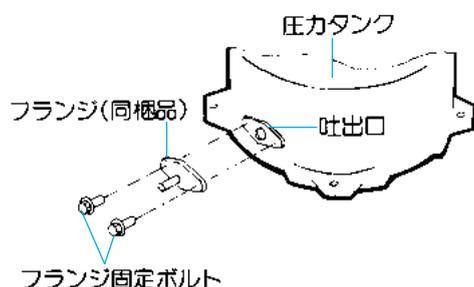


防水処理

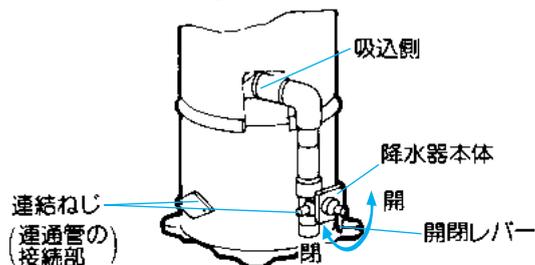
床面が防水処理・排水処理されているか確認する。

- 水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

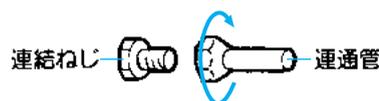
- 1 ポンプの電源が「切り」であることを確かめます。
- 2 ご使用にならないポンプ吐出口のフランジ固定ボルトをゆるめ、フランジを取り外します。
- 3 2で外した吐出口に、付属のフランジ(連結ねじ付き)を、フランジ固定ボルトで確実に固定します。



- 4 降水器をポンプの吸込側に取り付けます。
  - 降水器は同梱の連通管の長さを考慮し、適切な位置に取り付けてください。
  - シールテープなどで漏水を防いでください。
  - 一般形浅井戸用自動ポンプ80W、125Wに据え付けの場合は、径違いソケット(25×20)などを使って据え付けてください。



- 5 フランジの連結ねじと降水器の連結ねじを同梱の連通管で接続します。
  - 工具を使って確実に固定します。



## 防寒について

- 降水器の保温は、配管用の保温材などを使って保温してください。連通管も忘れずに、保温材で防寒してください。凍結しますと降水しない恐れがあります。
- 水道管・給水管とも保温材を使用して十分に防寒してください。配管の凍結防止用には市販の水道凍結防止帯をご利用ください。

**ご注意** ● 降水器のレバーが凍結して動かない場合は、ぬるま湯をかけて凍結を解除してください。

## 試運転と据え付け後の確認

### 1 試運転

- ① 降水器が閉じられていることを確認してください。
  - ② ポンプ本体の取扱説明書の「運転について」の順に従ってください。
- 2 降水することを下記手順で確認してください。
    - ① ポンプの電源を「切り」に、または圧力スイッチの切り替えつまみを「手動切」にします。
    - ② 吐出側の水栓を1か所開きます。
    - ③ 降水器の開閉レバーを「開」方向(反時計方向)に回して、降水することを確認してください。
    - ④ 水が全部抜けましたら、開閉レバーを「閉」方向(時計方向)に回します。
    - ⑤ ポンプの電源を「入り」に、または圧力スイッチの切り替えつまみを「自動」に戻します。

お客様に降水のしかたと運転のしかたをご指導ください。

### お客様メモ

後日のために記入しておいてください。  
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名

電話 ( ) -

ご購入年月日

平成

年

月

日

◎ 日立 ホーム&ライフソリューション株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12  
電話 (03) 3502-2111